

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	佐渡市創業支援ネットワーク会議
開催日時	平成29年7月3日(月) 10時開会 11時45分閉会
場所	佐渡市役所 3階 大会議室
議題	(1) 平成29年度佐渡市創業支援ネットワーク会議の方向性について (2) 意見交換・情報共有 (3) 佐渡市雇用機会拡充事業補助金第2回公募における変更点について (4) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	非公開 (佐渡市情報公開条例第7条に定める公開しない情報について話される可能性があったため)
出席者	参加者 学識経験者 1名 金融機関 6名 関係団体 5名 地域振興局 1名 企画課長 岩崎洋昭 地域振興課長 市橋秀紀 事務局 地域振興課 課長補佐 高野久之 商工振興係長 川端澄人 商工振興係主任 渡部達也
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
地域振興課長	あいさつ
各自	自己紹介
商工振興係長	<p>議題</p> <p>(1) 平成 29 年度佐渡市創業支援ネットワーク会議の方向性について</p> <p>資料「別紙 1～3」により説明</p>
A 氏	<p>昨年度の創業相談者は 25 名、内創業はその半数程度である。主に商工会経由の案件であり、採算が見込める事業計画の作成に 1～2 ヶ月経過し、その後、金融機関の審査となるため更に時間がかかる。本ネットワークで関係機関と連携が取れるとやりやすい。</p> <p>主に商工会員の相談を受けているが、島内全 4000 事業所の内、会員は 6 割程度であり、残りは手つかずとなっているため、そこにも広げていきたい。</p> <p>顧客のいる分野に創業するのが本来であるため、市場があるかの確認も必要である。</p>
B 氏	<p>創業希望者又は検討者を掘り起こす際に、データが必要と考える。市において、業種別の状況がどうであるのか、過去の事例等の情報の収集と分析をしてネットワーク機関に提供いただきたい。</p> <p>創業において、業種別に様々な課題が出ると思うので、その情報を共有し、対抗策を構築していくことが重要と考える。</p>
地域振興課長	<p>現状では商工会やハローワークからの情報以外のデータは持ち合わせていない。情報収集や特に分析については、専門家の皆さんからもアドバイスをいただきながら一緒になって取り組んでいきたい。</p>
C 氏	<p>(2) 意見交換・情報共有</p> <p>①昨年度における創業及び第二創業の取り組み、課題等について</p> <p>当大学では年 2 回程、創業及び第二創業に資するセミナーを開催し、40 名程の参加があった。本年度も 9 月に実施予定である。</p>

D氏	<p>当機関では創業アワードビジネスコンテストを開催し、優秀事業には支援をしている。その他、商工会と連携したセミナー、個別の相談会をNICOとも連携している。創業支援向けの融資も創設し、島内でも商工会やものづくり支援センターとも連携して取り組んでいる。</p>
E氏	<p>当機関では創業支援に力を入れており、外部機関との連携を強めている。支援については、相談員のレベルアップも必要。専門家として相談者が夢物語の計画を持ってきた際には、的確で妥当なアドバイスをしていただけるような体制づくりにも取り組んでいただきたい。</p>
F氏	<p>当機関の支援としては、他行と同様な取り組みを行っている。市内の創業は飲食、小売業など、限られた業種に限られ、他の業種は難しい地域ではないかと思う。計画についてもデータの裏付けのないものも多い。創業は資金力のある人だけではなく、これからやろうとする若者に対しても支援をしていきたい。</p>
G氏	<p>当機関では、新潟市内で関係機関との共催で創業セミナーを実施している。創業者にはフォローアップも図っているところ。昨年島内の飲食店に2件支援した。今年は既に2件の相談がある。島内でセミナーを実施できればと思うが、集客があるか、あるいはネットワーク主催でも開催できればと思う。</p>
H氏	<p>当機関での島内の創業実績はないが、県内者を対象に島外で相談会を実施している。島内から新潟市など商圏の大きなところへの進出について相談がある。</p>
I氏	<p>当機関では創業時、創業後5年までのお客に対する創業関連制度や計画策定支援、創業相談体制を設けている。協会は専門家36名とアドバイザー契約を結び、創業後の各種相談にも対応している。</p>
J氏	<p>当機関では事業計画策定からフォローアップまで一貫した支援を行っている。また、毎月島内でニコカフェを開催している。昨年は4種類の補助金事業で、全体で130件の支援をした。その内、佐渡市内は1件。3回まで無料の専門家派遣も行っている。</p>
B氏	<p>最近若者の創業相談が多い。傾向として、自己資金の過小若しくは0で持ってくるため、借金額が課題となる。このような部分を</p>

K氏	<p>アドバイスいただき、我々とは違った見方をする銀行や組織等、様々な目から見ていただくことが、これから創業する人にとっても良いのではないかと思う。厳しい意見かもしれないが、数年で潰れては困る。5年、10年続くものになっていただきたい。</p> <p>まだ趣味の域である人が多いが、将来的に創業に繋がればと思う。これまでに2名の創業があり、底辺を広げて取り組んでいきたい。</p>
L氏	<p>主に地域で活躍する若手が中心に構成されたメンバーで、新規事業提案に対して意見やアドバイスを重ねている。最近の傾向として、事業の方向性はわかるが具体的にどうするかができていない。我々はそこで一緒になって考えて取り組んでいる。昨年は3件の実績がある。</p>
地域振興課長	<p>創業関連セミナーを2回開催し、各種補助制度等により支援を行っている。</p> <p>毎年約500名の高校生が卒業し、85%程が島外に進学就職している。今年度の島内就職は27人であり、今まで60~80人の島内就職に比べて異常に少ない。働く場がないわけではなく、求人募集はあるが佐渡に残らない現状にある。創業、第二創業でも新たな雇用を増やしていきたい。</p>
地域振興課長	<p>②関係機関、団体等における今年度の取り組みについて</p> <p>昨年同様、各種補助制度により支援している。また、創業関連セミナーも予定しているため、ご協力をお願いしたい。</p>
J氏	<p>ベンチャー企業創出育成助成金、起業チャレンジ奨励金、UIターン創業加速化助成金、ニュービジネス雇用助成金の4つの支援を行っている。</p>
G氏	<p>第四銀行、新潟県保証協会、日本政策金融公庫、NIC0の4機関共催で創業セミナーを開催する。先輩経営者3名を招聘し、その後個別相談会も予定している。</p>
商工振興係長	<p>③支援情報の発信について</p> <p>市HPに関連サイトを設置し、セミナー等の情報を掲載したい。</p> <p>(3) 佐渡市雇用機会拡充事業補助金第2回公募における変更点について</p>

<p>企画課長</p>	<p>資料「別紙4」により説明</p> <p>第1回公募を終了し、審査の結果、11件の事業を採択した。(創業3件、事業拡大8件)新たに25名の雇用が生まれる計画である。</p> <p>大きな変更点はないが、募集期間を今回は1ヶ月間とし、プレゼン時間も前回の5分から10分以上とする。補助金返還の要件が厳しいとの意見があるが、ある程度の厳しさは必要と判断し、変更は予定していない。</p>
<p>C氏</p>	<p>(4) その他</p> <p>本ネットワークの主たる目的の根底には地域活性化が考えられる。しかし、先般読んだ経済学の事例に、ヨーロッパ地域でも人口減の課題があり、創業支援策を講じてきたが、創業が必ずしも地域活性化に結びついていない事例がある。ただし、現状を打破するために、創業も一つのチャレンジであるため、創業をサポートする上で何が必要と考えるか。</p>
<p>L氏</p>	<p>物を作ることは得意でも、実際にどこにどうやって売っていくのか、専門家の意見を聞いて理解できたとしても、一人ではその一歩を踏み出せない。情報を得る機会、一緒になって取り組む機会が必要ではないか。</p>
<p>K氏</p>	<p>島内で活躍する女性はたくさんいるが、それを発信する場も知る場もない。島内でこんな活動をしている人がいることを知ってもらいたいとの思いで活動している。創業前の最初の一歩の支援と考えている。また、補助金等の申請書類について、もっとハードルを低くして気軽に取り組める環境としても良いのではないか。</p>
<p>A氏</p>	<p>この数年で創業の環境が大きく変わったと感じる。以前は創業しようとする人も多くいたが、今はそうではない。もっと気楽にやってみようという人を育てることも必要だと感じる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>